

新型コロナや原油価格の高騰等を踏まえた環境に配慮した持続可能な観光の推進

総合緊急対策関係予算(予備費):約90億円

新型コロナや原油価格高騰等の危機に対して強靱で持続可能な観光を実現するため、その影響を受ける観光事業者等に対して、感染対策を図りつつ、地域が連携して実施する環境に配慮した持続可能な観光の推進を図る取組への支援を実施する。

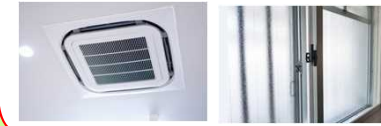
【支援イメージ】

新たな周遊旅行の促進



- 環境対策、ニューノーマル等に対応した交通の手配
(グリーンスローモビリティ、水素バス、EVバス、観光MaaSの活用等)

観光地における 感染対策・省エネ対策

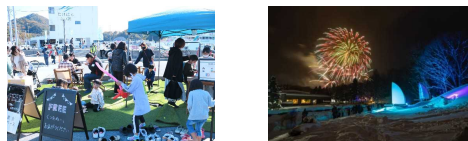


- 観光地(宿泊施設、観光施設等)における感染対策・省エネ対策



マイカーに過度に依存しない周遊観光による省エネ対策と感染対策の両立を図る地域の取組を一体的に支援

地域が連携して実施する 誘客・周遊を促すための仕掛けづくり



- 感染対策を図りつつ、地域が連携して行う誘客・周遊を促すための仕掛けづくり
- 地域における環境に配慮した周遊促進の取組(サイクルポート、グリーンスローモビリティの導入等)
- 複数事業者が連携して行う集客・周遊促進のための臨時運行

地域の魅力発信の強化や 周遊の促進に向けた研修

【支援対象者】 地方公共団体、DMO、民間事業者 【補助率】 1 / 2 等

※感染対策を図りつつ、持続可能な観光に取り組む地域*における新たな周遊旅行促進に向けた取組等を支援。

* 地方公共団体、DMO等が策定する計画において持続可能な観光に関する取組について記載がある地域

※採択に当たっては、省エネに係る具体的な数値目標を計画に記載した地域及び複数の取組みを一体的に実施する地域を優先。